

～四国靈場～

塩田平札所めぐり ガイドマップ



札所めぐりの歴史

江戸時代、全国的に巡礼が盛んになる中、塩田からも四国靈場の巡礼に行きたいのですが、あまりにも遠い。ということで、それなら塩田に四国靈場の八十八体の仏像を勧請しようと、下之郷村の庄屋 次郎兵衛が発願して塩田の各村の庄屋が集まる会合で相談しました。

その結果、村々で少しづつ寄付を募って京都の仏師に彫刻を頼み、元禄6年(1693年)、塩田の21の寺やお堂に八十八体の仏像を安置しました。

そして、江戸時代は盛んに札所巡りが行われていましたが、明治時代になると廃れてしまいました。

その後、仏像勧請の経緯や21か所の札所の名前、安置された仏像名が記された北条家の古文書「四国靈場略縁起」が発見されました。

これを契機に、仏像勧請300年目の平成5年(1993年)に札所めぐりが復活し、現在では、塩田佛教会(札所めぐり靈場会)によって「番外」と「客番」をあわせた26所の札所が設定され、札所めぐりが行われています。

塩田まちづくり協議会
札所めぐり靈場会

1番 理智山長福寺 下之郷 真言宗

四国靈場の仏像は廢仏毀釈で廃寺となった神宮寺に当時安置されたもの。神宮寺は長福寺と東西に對で建立された生島足島神社の別當寺だった。

長福寺には「信州夢殿」という奈良法隆寺夢殿完全2分の1のお堂があり、本尊に國重救世觀音が祀られている。※拝観は要予約。



番外 猫山觀音堂(西光寺) 下組 真言宗

塩田平の東側の小高い山の山腹にあり、その山が猫が寝ている姿に見えるところから、猫山と名づけられた。桜並木が整備され、時期には可憐な花が咲き乱れる。



番外 松本山西光寺 中組 真言宗

静かな集落の中にある。境内には県宝の阿弥陀堂があり、その前の川は三途の川に見立て、極楽淨土を作り出している。仁王門の金剛力士像は13世紀の造立。



2番 町屋觀音堂(西光寺) 中組 真言宗

創建は江戸時代中期の元禄2年、同14年の火災後再建されたと伝えられている。

現在のお堂は、地域の集会所としても利用されている。



番外 心月山大圓寺 奈良尾 曹洞宗

富士獄山という地域の信仰の山裾に位置し、北側の眺めが良く上田市を一望できる。時期になると樹齢800年の枝垂桜やカタクリの花が咲き乱れる境内となる。



3番 平井寺地蔵堂(大圓寺) 平井寺 曹洞宗

集落の中を進んだ西側の山腹にお堂がある。登り口は、庭先を進むため歩いていくしかない。元は平井寺という寺があったが、廃寺になった。



4番 鈴子藥師堂(西光寺) 鈴子 真言宗

建立当時は現在地より西にあり、江戸時代に廃寺になった来光寺のお堂だった。現在は、公民館の一角に祀られており、綺麗に保存されている。



5番 石神釈迦堂(西光寺) 石神 真言宗

塩田北条氏の側近吉沢民部の居城が現在地より南側の「釈迦平」にあり、その鬼門除けとして建立、後に今の場所に移築。4月の花祭りで仏像を拝むことができる。



6番 南天山青龍寺(林法院) 柳沢 浄土宗(元)

明治に無住となり、その後学校や集会所として利用。周辺に仏教とかかわる地名が残っていることから、隆盛の時代が伺える。令和2年に浄土宗の寺としては解散。



7番 十人藥師堂(前山寺) 十人 真言宗

元の薬師堂は、宝永元年建立。安永5年再建され尼僧が住職だったがその後無住。現在は公民館の一角を薬師堂とし、仏像も全て大事に祀られている。



8番 獨股山前山寺 東前山 真言宗

約1200年前に創建。塩田平での真言宗の中心寺院。国重文「未完の三重塔」は観る人を引き付ける、境内に咲き乱れる四季折々の花が、更に塔を際立たせる。庫裏では名物の「くるみおはぎ」を味わうことができる。※要予約



9番 寶珠山龍光院 東前山 曹洞宗

塩田北条氏二代国時によって、父義政の菩提を弔うため建立。塩田北条氏はこの地で三代五十余年栄えたが、新田義貞の鎌倉攻めに応戦し悲しい最期を遂げた。寺宝には市指定文化財の狩野永琳筆の六曲一双屏風がある。



10番 龍王山中禪寺 西前山 真言宗

言い伝えによれば、東国に巡錫された弘法大師が、雨乞いのため草庵を結び祈祷を修したのが始まりとされる。境内には国重文の薬師堂、薬師如来坐像などがある。



11番 新町觀音堂(龍光院) 新町 曹洞宗

祥雲山龍安寺といわれ、明治に廃寺となったが、お堂は残され氷上王子神社と並んでいる。仏像は全て盜難にあってしまったが、住民有志の方々によって、仏像が寄進された。



12番 愛宕山満願寺 山田 真言宗

ご本尊薬師如来をはじめ、日光月光菩薩、十二神将などが安置され、境内には十王堂、稻荷社など有する。近くの山田神社の湧水は「山田の水」といわれ名水として親しまれている。



13番 光栄山無量寺 手塚 浄土宗

弘法大師ゆかりの「元木の地蔵」が安置されている。20番瀧澤寺の近くに祀られている「末木の薬師」と対とされている。



14番 祥雲山瑞光寺(安樂寺) 野倉 曹洞宗

この地域は、平家の落人が開いたといわれる。山に囲まれた景色は水墨画の中にいるよう。明治時代に廃寺。



現在のお堂は資料館となっており、仏様はそのままに祀られている。

番外 大湯藥師堂(安樂寺) 別所温泉 曹洞宗

温泉地の中にありながら、閑静な場所にある。江戸期には上田藩主の仙石政俊公の信仰篤く、当堂を復興。境内には十王堂や歌碑、別所五木の「ねじり紅葉」がある。



客番 北向觀音堂 別所温泉 天台宗

天長2年円仁により開創。現在の本堂は、建長4年に北条国時により北斗星が人々の拠り所になるようにと再建された。長野市の善光寺と南北に向かい合っている。



15番 崇福山安樂寺 別所温泉 曹洞宗

信州最古の禅寺。禅宗様式の建物で、わが国唯一の「国宝八角三重塔」が現存している。夏には蓮やアジサイ、秋には紅葉が目を楽しませてくれる。



16番 甲澤山法輪寺(安樂寺) 八木沢 曹洞宗

寛永6年安樂寺三世が開基。裏手の小高い丘には兜神社があり神仏混合の時代を伺う事ができる。現在の本堂は平成22年に新築された。上田高校の生徒による天井絵がある。



17番 飯綱山法樹院 舞田 浄土宗

文治元年建立。当時の名は「金王庵」。山門の手前の右手に虚空藏堂があり、中に江戸時代に勧請された坂東三十三観音が祀られている。



18番 法性山龍昌院 保野 曹洞宗

元和元年に真田信之公が別所安樂寺第三世を招いて開創された。信之公の墓もある。本尊は出山釈迦如意輪で、この地方では珍しい。



19番 九品山林法院 保野 浄土宗

江戸時代、上田藩主が別所の北向觀音へご参拝の折に、ご休息所にされたことから、北向きに本堂が建てられている。子育地蔵として知られる地蔵堂がある。



20番 景池山龍澤寺(龍光院) 中野 曹洞宗

龍光院三世が承応3年に開創。古来より修行寺の性格を強く持ち、近隣をはじめ、北信地方への転住した住職も多くいた。境内の藤は5月の連休頃見頃となる。



21番 神明山眞光寺 五加 真言宗

結願の寺。境内の入口には、六地蔵と閻魔大王、脱衣婆が迎えてくれる。秋には萩、ススキなど秋の花が参拝者を迎えてくれる。明治時代、中塩田小学校の前身である盈進学校の校舎となった。



※無住の寺・お堂名の()書きは管理寺院を示す。

塩田まちづくり協議会

上田市中野20 0268-38-8600

札所めぐり靈場会(事務局 長福寺)

上田市下之郷541 0268-38-3029